

B-1 単元構成

《しっかりコースの単元構成》(総時数10時間)

小単元	学習内容	評価規準	主な算数的活動
第一次 100をこえる数 8時間	・100をこえる数を工夫して数える。	・100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。 (関心・意欲・態度) ・100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。 (数学的な考え方)	○100をこえる計算棒を数える活動を通して、10や100のまとまりを作って数えるよさに気づく。
	・100をこえる数の表し方を知り、3位数のしくみを考える。	・3位数の十進位取り記数法のしくみを考えることができる。 (数学的な考え方) ・3位数をよんだりかいたりできる。 (表現・処理)	○位取り板を活用し、計算棒や具体物と対応させながら、3位数の表し方やしくみを考える。
	・空位のある3位数の表し方を知り、そのしくみを考える。	・空位のある3位数の表し方を考えることができる。 (数学的な考え方) ・空位のある3位数をよんだりかいたりできる。 (表現・処理)	○位取り板を活用し、計算棒や具体物と対応させながら、空位のある3位数のしくみや表し方を考える。
	・10や100を単位とした数の相対的な見方を考える。	・10や100を単位とした数の相対的な見方について考えている。 (数学的な考え方)	○10や100を単位として、そのいくつ分になるかを10円玉、100円玉を用いた活動を通して考え、数の大きさをとらえる。
	・1000という数を知り、数の構成を理解する。	・1000という数の構成や数の系列を理解している。 (知識・理解)	○1000羽の折り鶴を10や100のまとまりで数えたり、順に数えたりする活動を通して、1000という数をとらえる。
	・数直線を用いて、1000までの数の系列や順序を理解する。	・数直線をもとにして、1000までの数の系列や順序を理解している。 (知識・理解)	○数直線を使って、1000までの数を数直線上に表したり、1000までの数の系列を調べたりする。
	・3位数の大小を比較する。	・1000までの数について、大小を比較することができる。 (表現・処理)	○十進位取り記数法のしくみをもとにして、具体的な2量の比較や大小ゲームを通して、3位数の大小を比べる。
	・1000までの数の表し方、構成、大小などを練習する。	・1000までの数の表し方、構成、系列、大小などを理解している。 (知識・理解)	○「れんしゅう」に取り組み、1000までの数の理解を深める。
第二次 たし算とひき算 1時間	・10を単位とする簡単なたし算・ひき算をする。	・10を単位とする相対的な見方でたし算・ひき算の計算の仕方を考えることができる。 (数学的な考え方)	○買い物の場面で、お金の模型を繰り返し操作する活動を通して、10を単位とする簡単なたし算やひき算をする。
第三次 ふくしゅう 1時間	・まとめの学習をする。	・学習を生かして問題を解くことができる。 (知識・理解)	○「ふくしゅう」に取り組み、既習内容の定着を図る。

《チャレンジコースの単元構成》(総時数10時間)

小単元	学習内容	評価規準	主な算数的活動
第一次 100をこえる数 7時間	・100をこえる数を工夫して数える。	・100をこえる数のものを工夫して数えようとしている。 (関心・意欲・態度) ・100をこえる数のものを10や100のまとまりにして数えるよさに気づくことができる。 (数学的な考え方)	○計算棒、おはじき、ペンギンの数を数える活動を通して、10や100のまとまりを作って数えるよさに気づく。
	・100をこえる数の表し方を知り、3位数のしくみを考える。	・3位数(空位のある場合も含む)の十進位取り記数法のしくみを考えることができる。 (数学的な考え方) ・3位数(空位のある場合も含む)をよんだりかいたりできる。 (表現・処理)	○計算棒と位取り板を関連させながら、3位数(空位のある場合も含む)の表し方やしくみを考える。
	・10や100を単位とした数の相対的な見方を考える。	・10や100を単位とした数の相対的な見方について考えている。 (数学的な考え方)	○10や100を単位として、そのいくつ分になるかを考えたり、買い物ゲームを通して、数の大きさをとらえたりする。
	・1000という数を知り、数の構成を理解する。	・1000という数の構成や数の系列を理解している。 (知識・理解)	○1000羽の折り鶴を工夫して数える活用を通して、1000という数をとらえる。
	・数直線を用いて、1000までの数の系列や順序を理解する。	・数直線をもとにして、1000までの数の系列や順序を理解している。 (知識・理解)	○数直線を使って、1000までの数を数直線上に表したり、1000までの数のいろいろな系列を調べたりする。
	・3位数の大小を比較する。	・1000までの数について、大小を比較することができる。 (表現・処理)	○十進位取り記数法のしくみをもとにして、具体的な3量の比較やゲームを通して、3位数の大小を比べる。
	・1000までの数の表し方、構成、大小などを練習する。	・1000までの数の表し方、構成、系列、大小などを理解している。 (知識・理解)	○「れんしゅう」に取り組み、1000までの数の理解を深める。
第二次 たし算とひき算 1時間	・10を単位とする簡単なたし算・ひき算をする。	・10を単位とする相対的な見方でたし算・ひき算の計算の仕方を考えることができる。 (数学的な考え方)	○買い物の場面で、お金の模型を操作する活動を通して、10を単位とする簡単なたし算やひき算をする。
第三次 ステップ ふくしゅう 2時間	・まとめの学習をする。	※10や100を単位とする数の相対的な見方に基づく計算 (発展的な学習)	○(何百)+(何百)、(何百)+(何十)の計算や(何百)-(何百)、(何百何十)-(何十)の計算の仕方を100円玉や10円玉をイメージして考える。
		・学習を生かして問題を解くことができる。 (知識・理解)	○「ふくしゅう」に取り組み、既習内容の定着を図る。